

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)順天堂大学医学部附属順天堂	階数	地上6F
建設地	埼玉県越谷市袋山	構造	S造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、第一種	平均居住人員	1,048 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年6月 予定	評価の実施日	2024年7月29日
敷地面積	21,813 m <sup>2</sup>	作成者	王子亜希子
建築面積	4,337 m <sup>2</sup>	確認日	2024年7月29日
延床面積	17,999 m <sup>2</sup>	確認者	由井裕子



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 2.3**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 100%  
②建築物の取組み 79%  
③上記+②以外の 79%  
④上記+ 79%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.0

**LR のスコア = 3.7**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 敷地が十分ある既存病院の増築計画である。精神病院という特性を持ちつつ、内科の機能拡張を行うことから、隠しつつ地域に開く必要性という矛盾があるなか、植栽やルーバーで視線を遮りながら、エントランスは開放的にして、医療従事者と利用者両方にわかりやすく快適な施設を目指している。また、災害時にも医療を継続できるように設備バックアップ等の計画を行っている。		<b>その他</b> 0
<b>Q1 室内環境</b> 病室は、熱負荷の低減しつつ快適な療養環境を形成を目指したことに加えて、パンデミック時には3階を隔離病棟とする計画で、患者数に合わせて仕切れるようにし、院内感染等を引き起こさない感染症病棟になる空調管理方	<b>Q2 サービス性能</b> 十分な天井高さを確保した室内空間の確保、メンテナンス性が高く清潔な状態を維持しやすい内装材量の選定し、サービス性の高い療養環境の提供に配慮した。また、設備計画の信頼性として、洪水から1階の設備機器を守るよう	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 建物の建設範囲を極力小さくするように配慮し、広い敷地の既存の樹木などの生物環境を残すように計画した。また、外壁にルーバーや庇を設置し、熱負荷の低減を図り温熱環境に配慮した計画とした。
<b>LR1 エネルギー</b> 最新の高効率設備機器(空調・換気・照明)の採用などにより、施設全体のエネルギー消費量の削減を考慮した設備計画としている。また、中央監視設備でモニタリングが可能な設備計画とし、検証可能な計画としている	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型の衛生器具の採用、リサイクル材の採用、有害物質を含まない建材の採用等を行う建築・設備計画としている。	<b>LR3 敷地外環境</b> 駐車場を追加計画し、また、職員用は敷地外をリースすることで、敷地内駐車場の台数を確保し、十分な滞留長を敷地内に確保することで、近隣への渋滞緩和に寄与する計画としている。光害に対しては、マットな塗装を外壁に施し、窓前にはルーバーを設置して反射光を抑える

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**(仮称)順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院**

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>3.9</b>
<b>Q1 室内環境</b>							<b>0.40</b>		<b>-</b>	<b>3.8</b>
<b>1 音環境</b>						<b>3.7</b>	0.15	<b>3.3</b>	1.00	<b>3.6</b>
1.1 室内騒音レベル		病室間の間仕切りの遮音				<b>4.0</b>	0.40	<b>4.0</b>	0.40	
1.2 遮音						<b>3.8</b>	0.40	<b>3.9</b>	0.40	
1 開口部遮音性能		窓はすべてT-2としている				5.0	0.40	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能		病室間は遮音間仕切り、診察室間間仕切りにはGWを充填				3.0	0.60	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音						<b>3.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20	
<b>2 温熱環境</b>						<b>4.0</b>	0.35	<b>4.1</b>	1.00	<b>4.0</b>
2.1 室温制御						<b>4.2</b>	0.50	<b>4.4</b>	0.50	
1 室温		病室は夏26℃、冬23℃で設定				3.0	0.38	4.0	0.57	
2 外皮性能		窓ガラスはすべてLow-Eペアガラスとしている				5.0	0.25	5.0	0.43	
3 ゾーン別制御性		マルチユニット型ヒートポンプパッケージ採用				5.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御		夏冬50%で設定				<b>5.0</b>	0.20	<b>5.0</b>	0.20	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.30	
<b>3 光・視環境</b>						<b>2.6</b>	0.25	<b>4.1</b>	1.00	<b>2.8</b>
3.1 昼光利用						<b>1.8</b>	0.30	<b>4.2</b>	0.30	
1 昼光率		病室はほぼ部屋の中央に十分な大きさの窓を配置				1.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口						-	-	-	-	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策						<b>3.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30	
1 昼光制御		窓にカーテンベッド周囲にカーテン、窓外にルーバー設置				3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度						<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15	
3.4 照明制御		ベッドを使用している患者が手元で調整できる				<b>3.0</b>	0.25	<b>5.0</b>	0.25	
<b>4 空気質環境</b>						<b>4.7</b>	0.25	<b>4.5</b>	1.00	<b>4.6</b>
4.1 発生源対策						<b>5.0</b>	0.50	<b>5.0</b>	0.63	
1 化学汚染物質		工事に使用する材料はF☆☆☆☆を基本としている				5.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気						<b>4.0</b>	0.30	<b>3.6</b>	0.38	
1 換気量		30m3/h人設定				4.0	0.50	4.0	0.33	
2 自然換気性能						-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		6m以上離れている				4.0	0.50	4.0	0.33	
4.3 運用管理						<b>5.0</b>	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視						-	-	-	-	
2 喫煙の制御		敷地内禁煙				5.0	1.00	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>						-	0.30	-	-	<b>4.1</b>
<b>1 機能性</b>						<b>4.2</b>	0.40	<b>5.0</b>	1.00	<b>4.3</b>
1.1 機能性・使いやすさ						<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60	
1 広さ・収納性		個室: 16㎡以上(保護室除く) 4床室: 35㎡以上:				-	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応						3.0	1.00	-	-	
3 バリアフリー計画						<b>5.0</b>	0.30	<b>5.0</b>	0.40	
1.2 心理性・快適性						-	-	5.0	0.50	
1 広さ感・景観		病室の天井高さ2.7mを確保				-	-	5.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						5.0	1.00	5.0	0.50	
3 内装計画		内装はバースを作成し、事業主と確認しつつ進めた				5.0	0.50	-	-	
1.3 維持管理						<b>5.0</b>	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		清掃性が高く維持メンテが軽減できる内装				5.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		維持管理に必要諸室の整備				5.0	0.50	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>						<b>4.2</b>	0.30	-	-	<b>4.2</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振						<b>4.2</b>	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		重要度係数1.25として設計				4.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		必要箇所にブレースを入れ機器も配慮している				5.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						<b>4.1</b>	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		余裕度1.41のため、ほぼ告示の等級3				5.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		工場塗装のECPをメインの外壁としている				5.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床: 塩ビシート、塩ビタイル、壁天井: ビニルクロス、ボード				4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		SUSの外外部ダクトを採用				5.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						<b>4.4</b>	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		3項目で取り組みを行っている				5.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		6項目で取り組みを行っている				5.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3項目で取り組みを行っている				4.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		クラスS				5.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20	-	-	

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.9</b>	0.30	<b>3.8</b>	1.00	<b>3.9</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>4.6</b>	0.30	<b>4.6</b>	0.50	
1	階高のゆとり	1, 2階外来, 中央診療部5000, 病棟部4200	5.0	0.60	5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	ブレースは限定的であり乾式の壁をメインの壁としている	4.0	0.40	4.0	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>		積載荷重リストより	<b>4.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.4</b>	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性	更新時仮設スペース確保	4.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保	バックアップスペース確保	4.0	0.20		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30	-	-	<b>4.0</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>		既存樹木をできる限り生かしている	<b>4.0</b>	0.30		-	<b>4.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		敷地周囲の樹木の伐採は避け景観に配慮	<b>4.0</b>	0.40		-	<b>4.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>		敷地周囲に 植栽。	<b>4.0</b>	0.30		-	<b>4.0</b>
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	歴史的建造物の精神医学研究所を保存し庇等も設置	<b>5.0</b>	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		<b>3.0</b>	0.50		-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.7</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	<b>3.8</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		モデル建物法で計算	<b>4.0</b>	0.20		-	<b>4.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>		病室の自然採光	<b>3.0</b>	0.10		-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		[BEI][BEIm] = 0.75	<b>4.0</b>	0.50		-	<b>4.0</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.5</b>	0.20		-	<b>3.5</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.5</b>	1.00		-	
4.1	モニタリング	半分以上でモニタリング可能	4.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
集合住宅の評価				-		-	
4.1	モニタリング			-		-	
4.2	運用管理体制			-		-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	<b>4.0</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.20		-	<b>3.4</b>
<b>1.1 節水</b>		節水型の機器採用	<b>4.0</b>	0.40		-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.0</b>	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>4.2</b>	0.60		-	<b>4.2</b>
<b>2.1 材料使用量の削減</b>		RC 鉄骨梁SN490 C(F325)柱 BCP325 (F385)	4.0	0.10		-	
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>		旧5号館の基礎を型枠の一部に採用	5.0	0.20		-	
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>		-	3.0	0.20		-	
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>		岩綿吸音板、ビニル床タイル、ビニル床シート	5.0	0.20		-	
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>			2.0	0.10		-	
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>		S造のため躯体と仕上げ材は分別が用意、設備スペースは外部から	5.0	0.20		-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>4.3</b>	0.20		-	<b>4.3</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>		有害物質を含む材料は不使用	<b>5.0</b>	0.30		-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>4.0</b>	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)	JISA9526 製品を採用	5.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	<b>3.2</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>			<b>3.8</b>	0.33		-	<b>3.8</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>2.6</b>	0.33		-	<b>2.6</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>			<b>3.0</b>	0.25		-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>2.0</b>	0.50		-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>3.5</b>	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制	4項目以上	5.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.4</b>	0.33		-	<b>3.4</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40		-	
1	騒音		3.0	0.33		-	
2	振動		3.0	0.33		-	
3	悪臭		3.0	0.33		-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>			<b>3.3</b>	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制			-		-	
3	日照障害の抑制		4.0	0.30		-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>4.7</b>	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインの過半を満たす	5.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	1, 2階は樹木で外部からはほぼ見えず、病棟部はルーバーでガラスの反射を抑えるとともに、外壁はマット塗装としている。	4.0	0.30		-	

# CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	(仮称)順天堂大学医学部附属順天堂病院	BEE	2.3	BEEランク	★★★★
------	---------------------	-----	-----	--------	------

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.8	+	3.0	=	6.8
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上	

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO2の削減</b>		スコア平均	3.8
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.8
<配慮した内容を記述>			
<p>駐車場を追加計画し、また、職員用は敷地外をリースすることで、敷地内駐車場の台数を確保し、十分な滞留長を敷地内に確保することで、近隣への渋滞緩和に寄与する計画としている。</p> <p>光害に対しては、マットな塗装を外壁に施し、窓前にはルーバーを設置して反射光を抑える工夫をしている。</p> <p>敷地境界際の植栽はできる限り残置し、視線をカットするとともに緑多い良好な環境づくりへの努力をしている。</p>			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	3.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	4.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
<p>広い敷地を生かし、できるだけ既存の植栽を残しつつ必要ヶ所に追加して、緑豊かな環境を創出している。</p> <p>また、庇や、キャンピーで歩行者の利便性を図るとともに環境に配慮している。</p>			

:入力欄